

## 環境ビジョン 3

### 交流と教育・文化のまち

わたしたちの地球環境問題への関心の度合いは、世界から見ても非常に高いレベルであることがわかっています。しかし、一人ひとりの環境負荷の少ないライフスタイルへの転換や持続可能な地域社会づくりについてはあまり進んでいないのが現状です。

これは、これまでの環境教育・学習機会が、ライフスタイルや地域の課題を総合的な視点で捉えた具体的な取り組みへと結びついていなかったからといえます。

本市には、先人から受け継がれてきた豊かな自然環境や歴史的・文化的遺産、伝統芸能といった地域文化を形成する数多くの地域資源が存在しています。

持続可能な地域社会の実現のためには、地域に住む一人ひとりがこうした地域の恵みを保全し、活かしながら、学校や地域が連携して環境教育・学習を進めることが大切です。

また、学校や地域をはじめ、自治体や海外との積極的な交流は、地域の特色をより一層高められるきっかけとなります。

わたしたちは、自然、歴史・文化資源を活かした魅力的な「新城らしさ」あふれる『交流と教育・文化のまち』を創造し、将来世代に引き継いでいきます。

## 1 環境教育

### ●拠点づくり

#### 【環境教育拠点の整備】

地球温暖化や廃棄物などに見られる環境問題は、人のライフスタイルと密接に関わっています。こうした問題の解決のためには、現在の大量生産 → 大量消費 → 大量廃棄を基調にした高負荷なライフスタイルを、極力環境への負荷の少ないものへ速やかに変革していく必要があります。

それには、一人ひとりが、それぞれの日常行動が環境にどのような影響を与えているか、また、そのことが自分たちの生活や将来の世代にどのような影響を及ぼすかなど、人と人を取り巻く環境との相互作用について理解し、行動に結びつけていけるような環境教育の拠点の整備が重要な要素となります。

本市では、鳳来寺山参道の門前にある「鳳来寺山自然科学博物館」が環境教育の拠点として挙げられます。「足下の気づき」から 地域を知る → 何をすべきか考える → 実際に行動するというコンセプトの下でさまざまな講座、展示が行われています。



《鳳来寺山自然科学博物館の主な取り組み》

鳳来寺山を中心とした奥三河の自然に関する展示と、足元の自然をテーマにした特別展や、野外学習会、子ども向け自然講座、現地見学ツアーなどの活動を活発に行っています。

また、博物館友の会があり、市内はもとより県内外に多くの会員がいて博物館を活用しています。会員の有志によるボランティアグループ「博物館協力隊」（子どもから大人まで26名が登録）が結成され、博物館主催で開催する野外学習などの補助や環境整備活動、資料整理などを行うとともに、友の会主催の自然観察会などの講師などもつとめています。

郷土の自然について調査、展示、教育普及、資料収集するといった、さまざまな博物館活動を市民ボランティアとともに力をあわせて推進しています。



「新城の花・木・鳥・石・カエル」展

◇特別展

実施日	テーマ
4月28日(土)～7月1日(日)	新城の花・木・鳥・石・カエル-その2
7月21日(土)～9月2日(日)	ネイチャーランド新城展
9月29日(土)～10月31日(水)	きのこ展
11月10日(土)～3月31日(日)	河原の石ころで遊ぶ展

◇野外学習会

実施日	テーマ	参加数	開催場所
4月29日(日)	乳岩の春の植物を楽しもう	32	乳岩及び乳岩峡
5月27日(日)	豊橋市自然史博物館の裏方と豊橋動植物園見学	34	豊橋市
6月3日(日)	鳳来寺山でモリアオガエルや初夏の生き物を観察しよう	33	鳳来寺山
7月8日(日)	化石採集と瑞浪市化石博物館見学	36	瑞浪市
8月4日(土)～ 8月5日(日)	七郷一色の昼と夜の生きもの観察	27	七郷一色
10月7日(日)	きのこを調べよう	34	鳳来寺山
10月21日(日)	本宮山の秋の植物を楽しもう	28	本宮山

◇子ども&子どもにかえりたい大人の自然講座

実施日	テーマ	参加数	開催場所
7月29日(日)	昆虫のふしぎ	19	博物館
8月19日(日)	木の実でオブジェやアクセサリを作ろう	15	博物館
8月26日(日)	石で道具をつくろう	22	博物館

◇ジュニアナチュラリスト養成楽級・山里の学校「生きもの博士教室」

実施日	テーマ	参加数	開催場所
6月17日(日)	昆虫とクモのからだのしくみ	8	博物館周辺
9月1日(土)	魚をしらべよう	11	博物館周辺
10月28日(日)	動物のあしあとをしらべよう	13	博物館周辺

◇屋根のない博物館現地見学会

実施日	テーマ	参加数	開催場所
9月9日(日)	作手の巨樹・名木を訪ねる	15	作手地区
11月11日(日)	河原の石ころ図鑑をつくる	12	桜淵公園、富沢

【公民館活動の整備・充実】

市では、農地の保全、開水路・農道等施設の適正な管理保全による長寿命化とともに農村環境を保全する効果の高い取り組みを行う活動組織を支援しています。

現在、市内22地区で農地保全のための活動が行われ、そのうち13地区においては生態系保存のための実践活動も行われています。

◇活動状況

No.	地区名	活動組織名	主な活動
1	上平井	上平井地域環境保全隊	生物生息状況把握
2	片山	片山地域環境保全隊	生物生息状況把握
3	牛倉	牛倉地域環境保全隊	生物生息状況把握
4	浅谷	浅谷地域の環境を守る会	生物生息状況把握
5	石田	石田の地域環境を守る会	生物生息状況把握、希少種の監視
6	杉山	杉山の環境を守る会	生物生息状況把握、外来種の駆除
7	八名井	八名井農地・水・環境保全会	生物生息状況把握
8	豊島	豊島環境保全会	生物生息状況把握
9	稲木	農地水環境稲木	生物生息状況把握
10	出沢	出沢里山を守る会	生物生息状況把握、希少種の監視
11	布里	布里農地・水環境保全隊	生物生息状況把握
12	黒瀬	黒瀬美土里会	生物生息状況把握、植栽を通じた在来生物の育成
13	菅沼	菅沼を良くしまい会	放流を通じた在来生物の育成、生物多様性保存に配慮した施設の適正管理

## ●環境教育・学習

市では、身近な自然の様子から地球温暖化といったグローバルな環境問題にいたるまで、ニーズに応えた環境学習を実施しています。

### 《親と子の走る環境教室》

親と子の「走る環境教室」は、夏休み中の市内の小学生とその保護者を対象に参加者を募集し、マイクバスなどを使って、市内外のリサイクル工場や環境関連施設の見学や勉強会を通じ、環境問題に対して理解を深め、その対策について親子で考えるものです。



平成25年度は、NECアクセステクニカ(株)及び本多技研(株)で企業が実施している、環境への取り組みについて学びました。

### ◆8月28日（水）

参加者数 児童11名 保護者8名

#### ◇親と子の走る環境教室の開催状況

年度	見学先
H13	県下水道科学館（平和町）自然共生研究センター（岐阜県川島町）
H14	王子製紙株式会社春日井工場（春日井市）愛知県環境調査センター（名古屋市）
H15	トヨタ「里山学習館エコの森ハウス」（豊田市）
H16	愛知県下水道科学館（平和町）愛知県環境調査センター（名古屋市）
H17	川売・梅の里、四谷・千枚田（旧鳳来町）段戸・きららの森（設楽町）
H18	でんきの科学館、エコパルなごや（名古屋市）
H19	コカ・コーラ東海北工場、東邦ガス(株)ガスエネルギー館（東海市）
H20	中部電力川越火力発電所・川越電力館テラ 46（三重県川越町）
H21	あいち臨空新エネルギー実証研究エリア（常滑市）新舞子マリンパーク風力発電所（知多市）
H22	浜岡原子力館（静岡県御前崎市、浜松科学館（静岡県浜松市）
H23	でんきの科学館（名古屋市）
H24	デンパーク（安城市）、ミツカン博物館「酔の里」（半田市）、コカ・コーラ東海工場（東海市）
H25	NEC アクセステクニカ（掛川市）、本多技研(株)浜松製作所（浜松市）



《市民環境講座》

市では、環境問題に取り組んでいる、若しくはこれから取り組もうとされているみなさんを対象に「環境活動に関する学習機会」を提供するために、平成16年度から毎年「市民環境講座」を開催しています。平成25年度は「小水力発電」や「グリーン購入」などをテーマにし、愛知大学名誉教授の藤田佳久さん、穂の国森づくりの会の森田実さん、NPO法人環境市民の有川真理子さん、愛知大学小水力研究会の浅井理孝さんらを講師としてお迎えし、多くの方の参加を得ました。



- ◆10月12日（土） 講師：藤田 佳久 氏、  
森田 実 氏  
小水力発電調査可能性調査報告会  
新城文化会館 301講習室  
参加者19人

- ◆12月21日（土） 講師：有川 真理子 氏  
グリーンコンシューマー  
～買い物で変わる私たちの暮らし～  
新城文化会館 301講習室  
参加者18人



- ◆2月22日（土） 講師：森田 実 氏  
浅井 理孝 氏  
小水力発電に関する現地見学会  
新城市内 小水力発電所など  
参加者11人

## 《水生生物調査》

市では、市内小中学校の生徒や行政区と河川における水生生物調査活動を行っています。

ほぼ毎年、同じ地点の水生生物の調査をしますが、水質の状況を把握するとともに、地域の自然とふれあうことのできる良い機会となっています。また、地元の水生生物調査を実施することにより、地元の川を自分たちで守ろうという意識の高揚にもつながります。



### ◇水生生物調査実施の状況（平成 25 年度）

学校・団体名	河川名	実施日	参加人数
黄柳川小	黄柳川	6月19日	76
東郷東小	五反田川	6月25日	38
千郷小①	野田川	6月27日	32
千郷小②	野田川	6月27日	32
舟着小	大入川	6月28日	8
鳳来寺小	海老川	6月28日	9
鳳来東小	大島川	7月1日	20
作手小南校舎	古宮川	7月2日	19
作手小北校舎	菅沼川	7月5日	8
東陽小	真立川	7月8日	19
東郷西小	半場川	7月17日	52
八名中	黒田川	7月25日	21
吉川公民館	大峯川	7月21日	23
石田区水生生物調査会	清水の小川	7月27日	65
菅沼会水生生物調査会	菅沼川支流の小川	8月4日	7
新城中学職場体験①	亀淵側	8月7日	4
新城中学職場体験②	田町川	8月7日	4
協和塾	巴川	8月11日	16
八名小	堀切川	9月11日	38
実施19回（10小学校・1中学校・5団体）			計491名

《地球温暖化に関する学習会》

持続可能な社会を構築していくためには、住民の方々の環境に配慮した行動も大切です。

市では、緊急な課題である気候変動などの地球温暖化問題に対し、状況を理解し、自ら考え、行動していただくため、要望により学習会を実施しています。

1 授業90分を基本に、受講される方の習熟度によって講座内容を変更しています。



◇地球温暖化に関する学習会実施状況（平成25年度）

団体名等	主な内容	実施日	参加人数
作手小学校南校舎	温暖化防止教室	6月13日	14
作手小学校北校舎	温暖化防止教室	6月18日	7
千郷小学校	温暖化防止教室	7月11日	142
実施3回（2小学校）			計163名

《ごみに関する環境学習》

市では、ごみの出し方や分け方をはじめ、処理の方法などについて実際に現場を見学して理解してもらうことを目的に、市内小学校の4年生を中心にごみに関する学習を実施しています。

◇ごみに関する学習会実施状況（平成25年度）

見学日	学校等名	見学者数	見学施設			見学時間
			クリーンセンター	資源集積センター	鳥原埋立処分場	
5月1日(水)	黄柳川小学校 連谷小学校 海老小学校 鳳来寺小学校	48人	○	○		9:05～10:05
5月15日(水)	東陽小学校	19人	○	○	○	9:00～11:30
5月16日(木)	鳳来西小学校	39人	○		○	10:00～11:30
5月20日(月)	東郷東小学校	38人	○	○		9:30～11:10
5月28日(火)	千郷小学校	60人	○	○		9:20～11:50
5月29日(水)	千郷小学校	60人	○	○		9:20～11:50
5月30日(木)	作手小学校南校舎	8人	○	○	○	9:30～11:50
6月4日(火)	八名小学校	40人	○		○	9:00～11:10
6月5日(水)	東郷西小学校	52人	○		○	9:30～11:30
6月12日(水)	庭野小学校	8人	○		○	9:15～11:25

見学日	学校等名	見学者数	見学施設			見学時間
			クリーンセンター	資源集積センター	鳥原埋立処分場	
6月19日(水)	高齢者大学	42人	○	○	○	9:30~11:15
6月28日(金)	新城小学校	75人	○	○	○	9:00~11:50
9月26日(木)	舟着小学校	8人	○	○		9:45~11:30
10月8日(火)	生活環境委員	76人	○	○		9:45~11:30
10月9日(水)	生活環境委員	19人	○	○		9:45~11:30
2月25日(火)	作手小学校北校舎	11人	○		○	10:30~11:45
実施16回 (14小学校・2団体)						計603名

### 《水道に関する環境学習》

市では、子どもたちに水道に関する基礎知識を学ぶことにより、水環境に対する興味と関心をもってもらうことを目的に、市内小学校4年生を対象に水道教室を実施しています。

水道講座（パワーポイントによる水道の基礎知識の学習および簡易急速ろ過実験）および、希望校については鯉淵浄水場はじめ、それぞれ地区の浄水場見学を実施しています。



### ◇水道に関する環境学習実施状況（平成25年度）

学校名	内容	実施場所	実施日	参加人数
新城小学校	講座・見学	桜淵監視センター、鯉淵浄水場	6月5日	75
作手小学校北校舎	講座・見学	作手小学校北校舎、田原浄水場	6月7日	10
連谷小学校 海老小学校	講座・見学	連谷小学校、海老浄水場	6月11日	5
黄柳川小学校	講座	黄柳川小学校	6月13日	9
鳳来西小学校	講座・見学	鳳来西小学校、西部浄水場	6月18日	11
東郷東小学校	講座・見学	桜淵監視センター、鯉淵浄水場	6月19日	36
舟着小学校	講座・見学	桜淵監視センター、鯉淵浄水場	6月20日	7
作手小学校南校舎	講座・見学	作手小学校南校舎、田原浄水場	6月25日	6
鳳来中部小学校	講座・見学	鳳来中部小学校、乗本浄水場	6月26日	33



学校名	内容	実施場所	実施日	参加人数
東郷西小学校	講座・見学	桜淵監視センター、鯉淵浄水場	6月27日	50
東陽小学校	講座・見学	東洋小学校、大野浄水場	7月1日	17
千郷小学校	講座	千郷小学校	7月2日	120
八名小学校	講座・見学	桜淵監視センター、鯉淵浄水場	7月3日	36
庭野小学校	講座・見学	桜淵監視センター、鯉淵浄水場	7月4日	7
実施14回（15小学校・19クラス）				計422名

### 《環境ポスターコンクール》

市では、ごみの減量化・資源リサイクル・環境美化の意識を高揚し、環境問題に関心を持っていただくため、社会科の授業で「ごみ」について勉強している小学4年生を対象に、環境ポスターの募集を行っています。平成25年度は180点の作品が寄せられました。

◆金賞2名、銀賞3名、銅賞5名、入選10名



平成25年度金賞作品



### 《しんしろエコ・ライブラリー》

市では、環境図書などを通して、さまざまな情報を皆さんに提供し、共に考え、その対策を進めていくための契機になればと、市内在住の方を対象に無料で貸し出しを行っています。

この事業は、市内のスーパーなどが取り組んでいる「レジ袋有料化」による収益金を「環境関連の資金として使用して欲しい」と1事業所から市に寄付をいただいたことから始まりました。

◇貸出状況（平成25年度）

品名	件数
図書	1
DVD	2
計3件	



《チャレンジ25新城》



市では、市民のみなさん、事業所がひとつのチームとなり、温暖化の防止施策を無理なく、楽しく、できる限り大きな成果を挙げることを目的として「チーム・マイナス6%しんしろ」を結成し、平成22年度より、国の動きに合わせて「チャレンジ25新城」へ移行しました。

多くの方にこの取り組みを知っていただくために、さまざまな機会を通じて、PR活動を実施しています。

■ 「チャレンジ25」って何するの？

CO<sub>2</sub>削減のために、具体的な「6つのチャレンジ」を提案しています。チーム全員が、日々のちょっとした気遣いを積み重ねれば、確実に大きな削減効果が期待できます。

- |                       |                                    |
|-----------------------|------------------------------------|
| 1. エコなスタイルを選択しよう      | 4. ビル・住宅のエコ化を選択しよう                 |
| 2. 省エネ製品を選択しよう        | 5. CO <sub>2</sub> 削減につながる取組を応援しよう |
| 3. 自然を利用したエネルギーを選択しよう | 6. 地域で取組む温暖化防止活動に参加しよう             |

◆平成25年度末登録数 個人2,152名 団体8団体

◇平成25年度 チャレンジ25新城の活動状況

実施日	活動の内容
4月19日	今年度第1回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。開催日や内容などについて協議しました。 勤労青少年ホーム 研修室B 参加委員15名
5月10日	今年度第2回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。クールアースデーを行うイベントの内容などについて協議しました。 旧市民体育館第1会議室 参加委員9名
6月7日	今年度第3回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。イベントで行う手作りキャンドル教室の詳細や、9月の本番の内容について協議しました。 旧市民体育館第2会議室 参加委員13名
6月13日	「作手小学校南校舎」の5年生を対象に、環境学習キットなどを利用した温暖化防止教室を開催しました。また、先生や児童を対象に電気自動車（アイ・ミーブ）の体験乗車会を開催しました。 参加児童数 14名、先生 1名
6月18日	「作手小学校北校舎」の6年生を対象に、環境学習キットなどを利用した温暖化防止教室を開催しました。また、先生や児童を対象に電気自動車（アイ・ミーブ）の体験乗車会を開催しました。 参加児童数 7名、先生 1名

実施日	活動の内容
6月24日	今年度4回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。プレ・イベントのスケジュール確認や、9月本番のメインキャンドルについて協議しました。 参加委員 12名
7月7日	「キャンドルナイト新城プレ・イベント」を開催しました。手作りキャンドル教室には親子連れが訪れ、紙パックキャンドルを熱心につけていました。また、セタライトダウンの趣旨に賛同し、家庭の電気を午後8時から30分間消灯するように呼びかけをしました。 参加者 20名、参加委員 13名
7月11日	「千郷小学校」の6年生を対象に、環境学習キットなどを利用した温暖化防止教室を開催しました。 参加児童数 142名、先生 4名
7月20, 21日	「ツール・ド・新城 2013」の会場にて、電気自動車（アイ・ミーブ）の展示、ソーラーッキング、自転車発電機、ピコ水力発電機、ペレットグリルヒーターによるデモンストレーションなどを行い、温暖化防止と自然エネルギーの利用についてPRしました。
7月29日	今年度5回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。スケジュール確認、会場レイアウト、メインキャンドルについて協議しました。 勤労青少年ホーム 研修室B 参加委員 10名
8月1日	市役所で実施した緑のカーテンで採れたゴーヤなどを、市民保険課前の待合室で配布を始めました。
8月28日	平成25年度の親と子の走る環境教室を開催しました。NEC アクセステクニカ、本田技研工業の見学を通して、親子で環境問題に対する理解を深めました。 参加人数 大人 8名、子ども 11名
8月30日	今年度6回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。9月本番に向けて最終的なスケジュールなどについて協議しました。 勤労青少年ホーム 研修室B 参加委員 13名
8月31日	3日間の連続講座となる「再生可能エネルギー塾」を開催しました。第1日目は座学とグループワークを行い、終了後に参加者と講師で交流会も行いました。 文化会館展示室 参加者 39名
9月7日	3日間連続講座となる「再生可能エネルギー塾」を開催しました。第2日目は長野県飯田市を訪れ現場の生の声を直接聞きました。 参加者 30名
9月8日	3日間連続講座となる「再生可能エネルギー塾」を開催しました。第3日目は再エネのファイナンスについて座学を行いました。 文化会館 301 会議室 参加者 27名
9月14日	市民体育館駐車場にて、キャンドルナイト新城 2013 を開催しました。今年度は参加型イベントに形を変え、参加者が作品を持ち寄り飾りました。会場では、ミニコンサートや手作りキャンドル教室も行いました。 来場者数 約 500 人

実施日	活 動 の 内 容
9月15日	前日に行われたキャンドルナイト新城 2013 で使用した資材（ペットボトルや紙パックなど）の整理や分別作業、会場の清掃を実行委員で行いました。 参加委員 10名
10月8日	今年度第7回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。今年度の反省点と今後の取り組みなどを協議しました。 勤労青少年ホーム 研修室 A 参加委員 13名
10月11日	杉山地区の方を対象に、環境学習キットなどを利用した温暖化防止教室を開催しました。電気自動車（アイミーブ）の体験乗車会も開催しました。 杉山公民館 参加者数 20名
10月12日	今年度第1回の市民環境講座「小水力発電可能性調査報告会」を開催しました。 文化会館 301 会議室 参加者 23名
10月23日	今年度第8回目の「キャンドルナイト新城実行委員会」を開催しました。今後の取り組みなどを協議しました。 勤労青少年ホーム 研修室 B 参加委員 7名
11月2日	「JAまつり」会場（桜淵公園）にて、電気自動車（アイ・ミーブ）の展示、ソーラークッキング、自転車発電機、ピコ水力発電機、ペレットグリルヒーターによるデモンストレーションなどを行い、温暖化防止と自然エネルギーの利用について PR しました。
11月4日	「スマイルフェスティバル」会場（ふれあいパークほうらい）にて、電気自動車（アイ・ミーブ）の展示、ソーラークッキング、自転車発電機、ピコ水力発電機、ペレットグリルヒーターによるデモンストレーションなどを行い、温暖化防止と自然エネルギーの利用について PR しました。
11月17日	「つくで祭り」会場（鬼久保広場）にて、電気自動車（アイ・ミーブ）の展示、ソーラークッキング、自転車発電機、ピコ水力発電機、ペレットグリルヒーターによるデモンストレーションなどを行い、温暖化防止と自然エネルギーの利用について PR しました。
12月21日	今年度第2回の市民環境講座「グリーンコンシューマー ～買い物で変わる私たちの暮らし～」を開催しました。 文化会館 301 会議室 参加者 21名
2月22日	石田地区の子ども会を対象に温暖化防止教室を開催しました。 石田公民館 参加者数 70名
2月22日	今年度第3回の市民環境講座「小水力発電に関する現地見学会」を開催しました。 市内小水力発電跡地 参加者 11名



## 2 歴史・文化

### ●歴史的・文化的環境の保全整備

#### 【史跡、名勝、天然記念物や建造物の保持】

##### 《環境整備の実施》

国指定史跡長篠城跡をはじめとした城跡や古墳等の史跡、県指定天然記念物長の山湿原や清岳向山湿原などの適正な環境維持を行うため、地元市民等の協力により草刈り等の環境整備を行いました。



長ノ山湿原



宇利城跡

#### ◇指定文化財の状況

平成25年度末現在

	種別	名称	所在地	指定年月日
国指定文化財	建造物	東照宮	門谷	S28. 11. 14
		鳳来寺仁王門	門谷	S28. 11. 14
		望月家住宅	黒田	S49. 2. 5
	絵画	絹本著色三千仏名宝塔図	中宇利	H 6. 6. 28
	彫刻	木造薬師如来坐像	庭野	S 6. 12. 14
		木造阿弥陀如来坐像 附 木造観音菩薩坐像	巢山	S52. 6. 11
	無形民俗	三河の田楽	門谷・七郷一色	S53. 5. 22
	史跡	長篠城跡	長篠	S 4. 12. 17
	名勝	鳳来寺山	門谷	S 6. 7. 31
		阿寺の七滝	下吉田	S 9. 1. 22
	天然記念物	乳岩及び乳岩峡	川合	S 9. 1. 22
		馬背岩	豊岡	S 9. 5. 1
		黄柳野つげ自生地	黄柳野	S19. 3. 7
甘泉寺のコウヤマキ		作手鴨ヶ谷	S47. 5. 26	
国登録文化財	建造物	旧黄柳橋	乗本	H10. 9. 2
		瀧川家住宅主屋	出沢	H17. 2. 28
		瀧川家住宅長屋門	出沢	H17. 2. 28
		瀧川家住宅祠	出沢	H17. 2. 28
		旧大野銀行（大野宿鳳来館）本館	大野	H21. 1. 8

	種 別	名 称	所在地	指定年月日
国登録文化財	建造物	旧大野銀行（大野宿鳳来館）土蔵	大野	H21. 1. 8
		龍泉寺本堂	出沢	H25. 12. 24
		龍泉寺開山堂及び位牌堂	出沢	H25. 12. 24
		龍泉寺観音堂及び御茶堂	出沢	H25. 12. 24
		龍泉寺庫裏	出沢	H25. 12. 24
		龍泉寺鐘楼	出沢	H25. 12. 24
		八平神社本殿	出沢	H25. 12. 24
		八平神社玉垣	出沢	H25. 12. 24
		瀧神社本殿	大海	H25. 12. 24
県指定文化財	絵画	甘泉寺の涅槃図	作手鴨ヶ谷	S47. 6. 7
	彫刻	木造十一面観音立像	杉山	S32. 1. 12
		木造不動明王立像	巢山	S53. 3. 15
		木造熊野三所懸仏	巢山	S54. 3. 22
	無形民俗	信玄原の火おんどり	竹広	S40. 5. 21
		乗本万灯	乗本	S51. 7. 14
		南設楽のほうか	大海・布里・一色 塩瀬・源氏・名号	S58. 9. 14
	史跡	設楽のしかうち行事	能登瀬	S58. 3. 7
		宇利城跡	中宇利	S32. 9. 6
		旗頭山尾根古墳群	八名井	S53. 5. 29
	名勝	断上山古墳9・10号墳	大宮	S53. 10. 16
		満光寺庭園	下吉田	S49. 7. 3
	天然記念物	須山のイヌツゲ	作手清岳	S29. 2. 5
		ムカデラン自生地	川合	S30. 5. 6
		ねずの樹	門谷	S30. 7. 1
		長ノ山湿原	作手岩波	S48. 11. 26
中宇利丸山の蛇紋岩植生		中宇利	S55. 2. 12	
市指定文化財	建造物	8	能舞台、満光寺の山門、薬師堂他	
	絵画	3	太田白雪画像、鳥居勝商磔殺の図他	
	彫刻	29	木造十一面観音立像、木造大日如来坐像、木造子安観音立像、石造庚申碑、木造神馬、石造閻魔大王他	
	工芸品	6	能装束・能面、鰐口、唐の頭、喚鐘、鉄砲、梵鐘	
	典籍	8	太田白雪自筆著書、太田白雪「きれぎれ」他	
	古文書	38	今川義元証文、今川氏真証文、菅沼家家譜、慶長9年検地帳、御觸書留帳（町役場日記）等	
	考古資料	7	大ノ木遺跡他遺跡、茶臼山古墳他古墳出土品等	
	歴史資料	1	吉田川井堰引船図 附 井堰御普請関係文書	
	無形	3	祭礼能、立物花火、鳳来寺硯製作	
	有形民俗	7	石座石、服部神社伝来赤引糸関係遺物他	
	無形民俗	13	新城歌舞伎、鍋づる万灯、名越神楽、天王祭他	
	史跡	63	黒瀬遺跡、摩訶戸古墳群、新城城跡、信玄塚、富賀寺中世墓地、芭蕉句碑、蟻塚、今水寺跡他	
	名勝	4	鳴沢の滝、桜淵、鮎滝、富賀寺庭園	

市指定文化財	指定数	名称	種別
	天然記念物	24	白鳥神社の大スギ、ヒメハルゼミ、中央構造線長篠露頭、見代のオハツキイチョウ他



国指定文化財 望月家住宅【建造物】



国指定文化財 木造薬師如来坐像【彫刻】



県指定文化財 信玄原の火おんどり【無形民俗】



県指定文化財 設楽のしかうち行事【無形民俗】



市指定文化財  
ミカワバイケイソウ自生地【天然記念物】



市指定文化財 富賀寺庭園【名勝】



## 【歴史・文化の活用】

### 《歴史・文化関連施設》

#### 「鳳来寺山自然科学博物館」

鳳来寺山自然科学博物館は、国指定の名勝天然記念物・鳳来寺山を中心に、自然の宝庫である東三河を研究するため昭和24年9月に結成された「東三河の地質と鉱物の会」が田口鉄道鳳来寺駅の公舎を改造して開館した、田口鉄道自然科学博物館が前身になります。

そして、昭和38年4月26日、元鳳来寺村長で林業家の丸山喜兵衛氏の寄付により、日本初の二重展示方式を取り入れるなど全国的にも画期的な町立の自然科学博物館が建設されました。

各自然分野の専門家である学術委員による野外学習会などの教育普及活動は、開館時からたゆまず開催しています。また、展示においては、鳳来寺山をはじめとした当地域の地学、動植物などを幅広く展示しています。

また、県内最大規模の植物標本を収蔵するなど、自然資料の収集保存活動も行っています。



鳳来寺山自然科学博物館

#### 「設楽原歴史資料館・長篠城址史跡保存館」

日本三大決戦の一つとされる長篠・設楽原の戦いは、織田・徳川連合軍が初めて新兵器鉄砲(火縄銃)を大量に使用し、その威力をまざまざと見せつけ、後の戦術に一大変革をもたらした日本史に残る著名な戦いです。設楽原歴史資料館、長篠城址史跡保存館には、戦国の分岐点を演じた「鉄砲の戦いー設楽原の決戦」にまつわる人、経緯、火縄銃の果たした役割・その歴史を展示しており、織田・徳川連合軍が陣地の前にめぐらした武田騎馬軍の進撃を防ぐための馬防柵も再現しています。

また、設楽原歴史資料館には、日本開国の基となった幕末の日米修好通商条約調印の立役者・岩瀬忠震についての資料も展示しています。



設楽原歴史資料館



長篠城址史跡保存館



「作手歴史民俗資料館」

作手高原には、「全国重要湿地 500」にも選定されている広大な湿地帯があり、人々は原始・古代から現代に至るまで、その湿地をたくみに利用してきました。

作手歴史民俗資料館には、こうした風土の中で育まれた人々の歴史、民俗や湿地についての資料が集められています。



作手歴史民俗資料館

《新城まちなか博物館》

新城まちなか博物館は、新城の風土の中で生まれた新しいタイプの博物館活動で、仕事場や生活の場がそのままミュージアムであるということです。

「まち」の活動や暮らしの工夫がそのまま博物館であり、生涯学習のキャンパスとなります。順次まちなか博物館の指定を進め、現在は17館になりました。

◇新城まちなか博物館指定一覧（平成 25 年度末現在）

No.	博物館名	内 容
1	日野屋商店	酒蔵
2	中西農村民具室	明治時代からの農村民具の展示
3	大原商家民具室	明治時代からの商家民具の展示
4	はたおり工房	<small>たかぼた</small> 高機（手織り機的一种）による <small>はたお</small> 機織り
5	馬場彫金工房	鋼板のレリーフ・器の作成
6	藍弘苑	本藍による絞り染め
7	出沢やままゆ養蚕所	やままゆ施設見学・養蚕体験
8	郷土の食品・さくら工房	そば・五平もち作り体験
9	竹細工工房	虫かご・歴史的建造物の制作
10	寒峰窯（陶芸芸）	陶芸及び制作
11	イーハートーブ吉川（染色工房）	染め絵制作
12	竹工房・雅夢	竹細工
13	明神窯（竹炭）	釜入れ・釜出し・材料集め体験
14	エコファーム河部自然農園	果樹栽培と柿酢作り
15	(有)伸昌 [しんしょう]	銅版を使った折鶴作り
16	医王寺民俗資料館	農具、家庭用品、鉱物、岩石等の展示
17	皆集庵	登り窯の見学、陶芸体験



竹細工工房



はたおり工房



エコファーム河部自然農園



竹工房・雅夢

《姉妹町交流事業》

姉妹提携先である知多郡東浦町との交流を図るため、毎年、新城市民を対象として「東浦町『於大まつり』<sup>おだい</sup>の見学」と、東浦町民をお迎えする「新城市『長篠合戦のぼりまつり』、『鳳来寺山もみじまつり』の見学」事業を行っています。

東浦町との姉妹提携については、松平広忠公とその奥方『於大の方』<sup>おだい</sup>が、良い世継ぎがほしいと鳳来寺の本尊・峯薬師如来に祈願され、そのご利益により徳川家康公を授かったと言われており、その縁で、旧鳳来町と東浦町は「都市近郊の町と山の町



が産業・文化・伝統を通じて両町民が人間的ふれあいを高め、豊かで活力あるまちづくりを目指す」として、昭和 61 年 6 月 1 日に姉妹提携を行いました。その後、この姉妹提携は新城市に継承され、平成 19 年 4 月 1 日に「人と人のふれあいを通じて親善を深める」として継続されています。

### 3 交流

#### ●環境交流

##### 【自治体、NPO・NGO等との交流】

近隣自治体や同様の問題を抱えている自治体、NPO・NGO等との交流を深めることは、情報の共有化による取り組みの連携を図ることができるなどのメリットがあります。

##### 《キャンドルナイト新城》

市では、私たちの現在のライフスタイルを少しでも改善するためのきっかけづくりとして「キャンドルナイト新城」を開催しています。

このアクションは、公募の市民実行委員会による「開催の趣旨づくり」から始まりました。

開催時期や場所、方法などが企画立案され、毎年多くの方の参観を得ています。

開催8回目となった平成25年度は9月14日、旧市民体育館駐車場で実施され、約2,000名ものお客様がいらっしゃいました。会場は、幼稚園・保育園、一般団体のキャンドルが並び、暖かな灯火に包まれました。

実行委員会では、毎年「メインアート」を作成しており、会場を訪れる方々の楽しみにもなっています。今回は世界遺産への登録を記念して、富士山を制作しました。

##### キャンドルナイト新城 開催の主旨

今、地球温暖化問題が深刻化しており、このままの状態が進むと、水や食べ物が不足するなど様々な問題が起こり、次世代の生存についての危機がくると言われています。

温暖化の原因は、たくさんの水や電気、化石燃料（石油、石炭、ガソリンなど）を使い、そして、たくさんのごみを捨てるといったわたしたちのライフスタイルにあります。

わたしたちがライフスタイルを見直すことで、温暖化問題は解決の方向に向かいます。

このため、仲間や家族、学校、会社などのグループで「電気を消してスローな夜」を感じ、今一度、生活の原点を見つめ直すきっかけとして「みんなのチカラ」で行動する参加型イベント「キャンドルナイト新城」を行っています。





《日本の環境首都コンテスト、同全国フォーラム、同東海地域交流会》

市では、市民（NGO）の視点からの環境自治体づくり支援およびNGOと自治体さらには自治体間の環境問題に関する情報の相互交換の促進を目的とした「日本の環境首都コンテスト」に参加していました。コンテストは、持続可能な地域社会の実現のためにNGOが重視する取り組みの有無について質問・審査されます。

新城市はこのコンテストを「市民の環境施策の提案書」として捉え、第1回目からこのコンテストに参加しています。

◇日本の環境首都コンテスト成績（H22年度で終了）

参加年度	総合順位	人口規模別順位	参加年度	総合順位	人口規模別順位
H13年度	27位	3位	H18年度	3位	1位
H14年度	24位	2位	H19年度	5位	1位
H15年度	8位	2位	H20年度	5位	1位
H16年度	2位	2位	H21年度	5位	1位
H17年度	2位	1位	H22年度	6位	1位

※平成17年度から合併後の新城市として参加。人口規模5万人以下から5万人～10万人に区分変更。

さらに、コンテストが自治体の環境施策向上に活用されるよう、自治体とネットワーク合同の研究会や職員研修、地域ブロックごとに交流会が開催され、本市も参加しています。

◇交流会開催状況

区分	時期	開催場所
全国フォーラム	11月6日～7日	掛川市 掛川グランドホテル
中部環境5市サミット	7月24日	新城市 文化会館

《市民の森づくり活動の促進》

森づくりに対する市民や流域の人々の理解を深める教育活動を、森と人が育つ「共育活動」として位置づけ、市民参加の森づくりを推進するための森林体験活動や教育・学習活動を積極的に推進します。



体験活動、教育・学習活動は、森林を知り、森林に近づき、森林の中に入るという初級段階から、森林管理に関する一般的な学習と下草刈りや枝打ち、間伐等の中級者向けの作業の段階、そして森林の多様な公益的機能を生かす健全な森林管理をめざす上級者向けの段階まで、段階的な人材育成の仕組みを充実させていきます。

こうした体験活動、教育・学習活動は、新城市に活動拠点を持つ森林NPOや森林ボランティアと協働で推進していきます。

平成25年度においては、初心者・中級者・上級者の講習会や学校や地域への出前講座を計31回開催し、子供から大人まで、市内外から313名の方が参加されました。